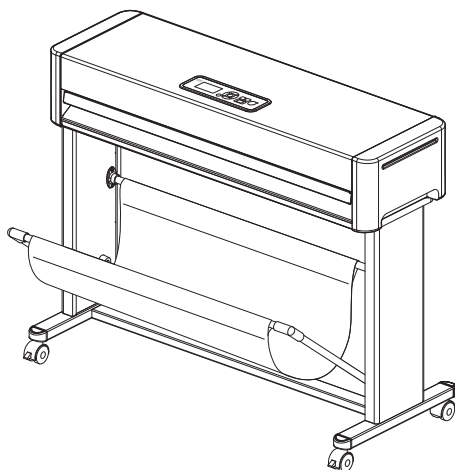


**MAX**

# RP-1000Fシリーズ

## 取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。



# 目次

---

---

## 必ずお読みください

はじめに.....	2
本書の表記について.....	3
ご使用上の注意.....	4

## お使いになる前に

同梱品.....	7
各部の名称.....	7
本体の設置.....	8

## プリンタドライバのインストール

ケーブルの接続.....	10
USBでインストールする.....	11
LANでインストールする.....	13
プリンタドライバの設定.....	15
印刷設定.....	16

## 拡大印刷をする

RP本体で必要な設定.....	18
外部入力機器(複合機やスキャナ)で必要な設定.....	18

## 用紙

用紙のセット方法.....	19
用紙の種類.....	22

## 操作

操作パネルの説明.....	23
MENU.....	25

## 印刷の仕様

PC印刷.....	35
外部接続機器からの印刷.....	36

## エラー表示..... 38

## こんなときには

故障かな?.....	41
お手入れ方法.....	43

## 付録

主な仕様.....	44
-----------	----

## 保証書..... 45

# 必ずお読みください

## はじめに

この度は、サーマルプリンタRP-1000Fシリーズをご購入いただき誠にありがとうございます。本機は大判印刷作業の効率化と品質の向上を目指して開発された、サーマルプリンタです。大判印刷作業の効率化を図り、また良きパートナーとして未永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

### ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会 (VCCI) の基準に基づくクラスA 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

### RFIDに関する記載



本製品は電波法に基づく型式指定を取得した高周波利用設備を内蔵しています。改造して不法電波を放射したりすると、**電波法違反となり処罰されます。**

- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたら、ご連絡ください。
- 万一、本機や本機が作成した印刷物を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。




# 本書の表記について

## ■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。表示の意味は次の通りです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## ■絵表示について

 「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な <b>注意内容</b> です。	 「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な <b>禁止内容</b> です。	 「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な <b>指示内容</b> です。
---	---	---

## お願い

本機が故障し、修理が必要になることが想定される操作や、原状復帰のためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書かれています。



操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書かれています。



説明のページが異なる場合に参照するところが書かれています。

# ご使用上の注意

## 警告

- 本体をひっくり返さない  
火災、感電のおそれがあります。
- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない  
故障や、火災、感電、けが、やけどのおそれがあります。
- 電源コードは必ず付属のものを使用する  
火災・感電のおそれがあります。
- 電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしない  
火災のおそれがあります。
- 電源コードを加工しない  
火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードの上に重いものを絶対にのせない  
コードに傷が付いて火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードは、束ねたまま使用しない  
発熱により、火災や故障のおそれがあります。必ずほどいてご使用ください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電のおそれがあります。
- 水に濡れた手、衣服のまま本機の操作をしない  
感電のおそれがあります。
- コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしない  
火災や故障のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く  
コードが破損して火災や感電のおそれがあります。
- アース線は絶対にガス管につながない  
爆発する可能性があります。
- 電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させない
- アース線は、水道管・電話線のアース線や避雷針などに接続しない  
接地が不十分だったり、落雷などにより感電、火災のおそれがあります。
- 傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わない  
火災・感電・故障のおそれがあります。

- 水、薬品などが本機にかからないようにする  
万一内部に水などがに入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると故障や、火災、感電のおそれがあります。
- 故障のまま本機を使わない  
煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると火災、感電のおそれがあります。  
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う  
電源プラグをコンセントに差したまま移動させるとプラグやコードが傷つき、火災や感電のおそれがあります。



- 本機は絶対に分解または改造しない  
火災、感電、故障、けがのおそれがあります。



- 必ずアース接続を行う  
万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。
- アース線を接続したり外したりするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電の原因になります。
- 電源プラグは定期的に清掃する  
長い間にホコリなどがたまり、火災や故障のおそれがあります。
- 電源は定格内のAC100V 10A以上の専用コンセントを使用する  
100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電のおそれがあります。

## 注意

●本体の上に物を置いたり、体重をかけたりしない  
故障や転倒のおそれがあります。

●本機は必ず水平に設置する。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しない

倒れたり台から落ちたりして、けがや故障のおそれがあります。

●直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態での使用は避ける

動作が不安定になることや、本機故障のおそれがあります。

●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しない

電圧が下がり本機が誤動作するおそれがあります。

●ヘッドカバーを開けたまま動かさない

●コネクタには直接手で触れない

●本体内部に用紙、異物等がはさまるなどで、印字や用紙カットが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除く

●用紙の装着脱をするときは、必ず電源をOFFにする

機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。

●用紙の出口部には絶対に手や物を差し込まない



●長期間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜く

●電源プラグは定期的に清掃する

長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因となります。

●プリンタおよびプリンタ専用台の組付け、設置作業は2人で実施する

機械を落とすと、けがや故障のおそれがあります。



●ヘッドカバーを閉める際には、手を挟まないよう注意する

●機械本体にプリンタ専用台を組付ける場合は、機械本体とプリンタ専用台の固定を確実に行う

機械本体が落下して、けがや故障のおそれがあります。

●合成紙など静電気の発生しやすい用紙を使用するときは、用紙取扱い時の静電気に注意する

●サーマルヘッドにはさわらない

サーマルヘッドにさわると、やけどのおそれがあります。



●排紙部に手や物を入れない

内部にカッターがあり非常に危険です。

●ヘッドカバーの開閉時には手などを挟まないように注意する

## 免責事項

本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、およびこれにより生じた二次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## お願い

### USB接続ケーブルについて

USBを使ってパソコンと接続する場合、不具合が発生しないように次のことにご注意ください。

●直接RP-1000Fシリーズとパソコンを接続する場合は、必ず長さ2m以内のケーブルをお使いください。

●2mより長いケーブルをお使いになる場合、必ず外部電源供給タイプのハブを間に入れてください。2mより長いケーブルを直接接続して使うと、パソコンによってはUSBドライバのインストールができなかったり、通信エラーをおこすことがあります。

※ハブとは、パソコン側のUSBポートに接続しUSBポートを増設するためのもので、USBケーブルとともにパソコンを取り扱うショップでお買い求めできます。

## お願い

☆本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

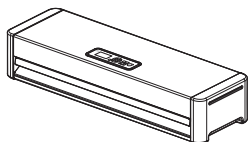
1. トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用および保管をしないでください。
    - ①直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
    - ②ホコリや湿気の多い場所
    - ③傾いたり振動や衝撃の加わる場所
    - ④温度は10℃～35℃、湿度は20%～80%以外の環境で使用
    - ⑤温度は-20℃～60℃、湿度は10%～85%以外の環境で保管  
※特に、低温の場所に設置した場合は発色が薄くなる場合があります。
  2. 動作中に電源スイッチを切ったり電源プラグをコンセントから引き抜いたりしないでください。
  3. 本機は精密機械です。落としたりぶつけたりなどで強いショックを与えないでください。
  4. 本機とコンピュータの電源を必ずOFFにしてから、インターフェースケーブルを接続してください。
  5. 高圧電源や強磁界を発生する機器の近くでは使用しないでください。故障や異常動作の原因になります。
  6. サーマルヘッドには直接手を触れないでください。故障、やけどのおそれがあります。
  7. ヘッドカバーを開けたときに、プラテンローラー部やロール紙トレイにゴミや異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。
  8. ヘッドカバーを開けたときにプラテンローラー部やヘッド部を固いものなどで傷つけないようにしてください。
  9. ロール紙は、必ずマックス専用用紙をご使用ください。
  10. マックス専用用紙は次のような場所で保管してください。
    - ①温度 5℃～35℃
    - ②湿度 35%～70%
    - ③直射日光の当たらないところ（暗いところ）開封後のマックス専用用紙を一時保管する場合は、包装されていた黒いビニールシートに包んで保管してください。
  11. マックス専用用紙以外は、機械本体のカッターで切断しないでください。
  12. 電源が入っているときに、用紙をセットした状態で強く引っ張らないでください。
  13. 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。  
有機溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）や濡れ雑巾などを使用しないでください。
  14. 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。
  15. LCDディスプレイ部を強く押さないでください。割れることがあります。
  16. 消耗品は、マックス専用用紙をお使いください。その他のものをご使用になると正常に動作しなかったり、印刷できない場合があります。
  17. 用紙にホコリやゴミ等が附着すると、本機での印刷時に線状の印字抜けすることがあります。用紙は梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが附着しないようにご注意ください。
  18. 本機で使える用紙はマックス専用用紙のみです。
- ☆RP-1000Fシリーズ本体の上ヘッドカバーの上に物を置いたり、手をついたりしないでください。印刷のときに印刷の不良や故障のおそれがあります。
- ☆印字文字数について  
このプリンタでは、印刷コマンドにMFGL1（ヘクタコマンド）を使用する場合、一度に約500文字の印字が可能です。ただし、文字の画数・大きさ・書体によって印字可能な文字数は変わります。コンピュータから送られる文字数が多すぎる場合は「受信容量オーバー」とLCDに表示し停止します。電源をOFFにしてください。データを修正して容量を小さくしてください。
- ☆マックス専用用紙について  
マックス専用用紙はRP-1000Fシリーズ専用用紙が使用できます。専用紙をご使用いただくことで高品位な印刷を高速で出力することができます。

# お使いになる前に

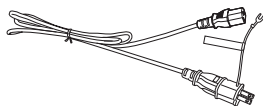
## 同梱品

箱を開けて、下記のものすべて揃っていることを確認してください。

①本体



②電源コード



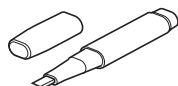
③フランジ (2個)



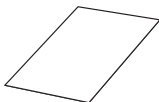
④フランジガイドユニット



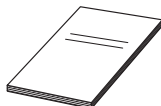
⑤ヘッドクリーナー



⑥使用許諾契約書



⑦取扱説明書 (本書)



⑧ドライバCD (1枚)



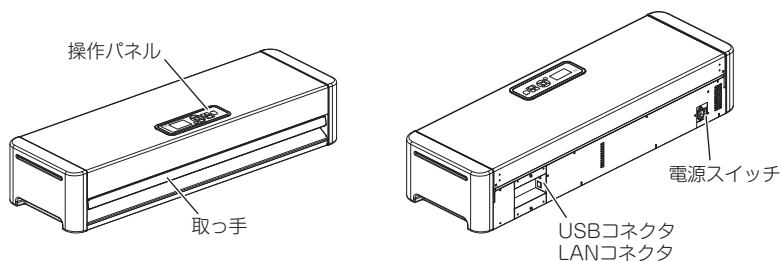
※コンピュータとプリンタを接続するインターフェースケーブルは同梱されていませんので、別途お買い求めください。

USBケーブルはUSB2.0対応のケーブル、LANケーブルはエンハンスカテゴリ5 (CAT-5E) 以上のケーブルを使用してください。

### 別売品

専用キャブ (RP-1000Fシリーズキャブ)

## 各部の名称

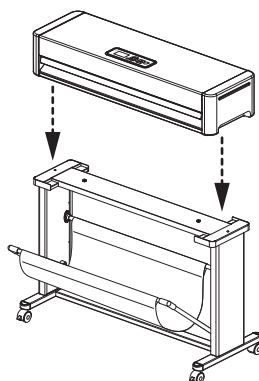




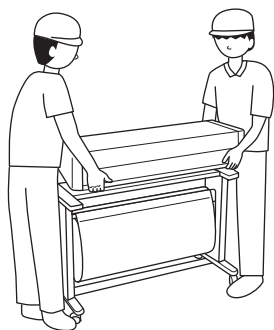
## 本体の設置

専用脚部を準備されている場合は、専用キャブを組み立て、RP-1000Fシリーズ本体をセットします。

※専用キャブの組み立ては脚部付属の取扱説明書をお読みください。

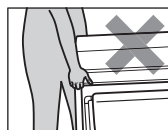


- 1 本体を2人で持ち上げ、専用キャブの上ののせてください。  
このとき、本体の端を持たないように注意してください。



### ⚠ 注意

本体の端を持たない  
指をはさみ、けがをするおそれがあります。

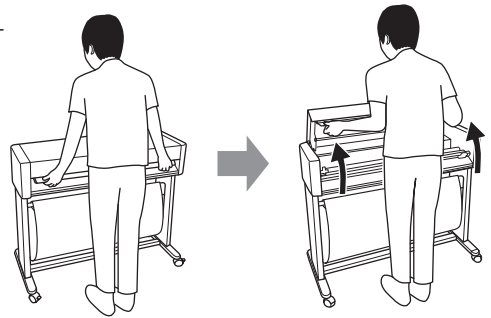


### ⚠ 注意

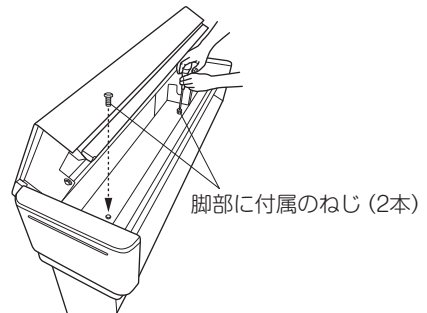


- プリンタおよびプリンタ専用台の組付け、設置作業は2人で実施する  
機械を落とすと、けがや故障のおそれがあります。
- 機械本体にプリンタ専用台を組付ける場合は、機械本体とプリンタ専用台の固定を確実に  
機械本体が落下してケガや故障のおそれがあります。

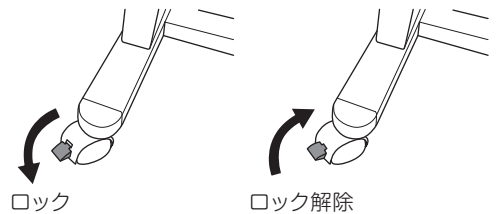
- 2 本体手前の取っ手を引き、ヘッドカバーを開けてください。



- 3 本体と専用脚部をキャブに付属されているねじ2本でしっかり固定します。

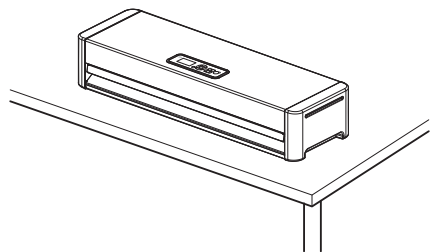


- 4 専用キャブはロックが付いていますので、ご希望の位置に移動したら、キャスターのロックをして専用台が動かないように固定してください。



## テーブルに設置する場合

本体の重さに耐えられる丈夫でぐらつかない水平なテーブルに設置してください。  
安心してお使いいただくためにも、別売りの専用脚部のご使用をおすすめいたします。

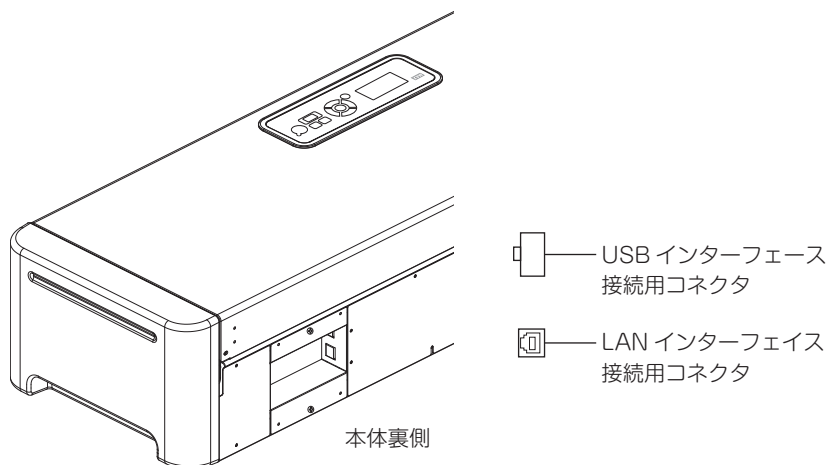


# プリンタドライバのインストール

RP-1000F シリーズとパソコンを接続するには、USB 接続と LAN 接続の2種類があります。ご利用の接続方法に合わせ、接続ケーブルを別途ご用意いただいてから、次にお進みください。

- ①USBでインストールする → P11 USBでインストールする
- ②LANでインストールする → P13 LANでインストールする

## ケーブルの接続



※RP-1000Fシリーズとパソコンの電源は切っておいてください。

※LANケーブルはカテゴリ5 (CAT-5) 以上のケーブルを使用してください。

# USB でインストールする

※ケーブルを接続する場合は、一旦パソコンの電源を切ってから接続してください。

※他のアプリケーションを起動している場合は終了させてください。

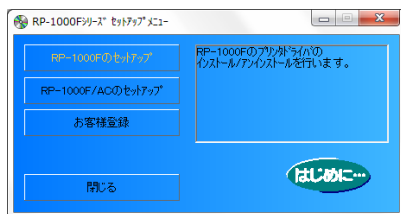
1 本体とパソコンがケーブルで接続されていることを確認して、パソコンの電源を入れます。

※パソコンの起動は、コンピュータの管理者またはアドミニストレーターの権限で起動してください。

※「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、許可を選択してください。

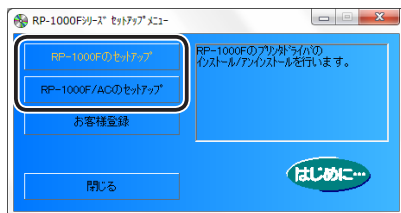
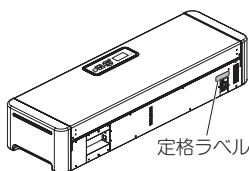
2 ドライバCDをパソコンのCDドライブに挿入します。  
ランチャが開きます。

※パソコンの設定によっては、自動でセットアッププログラムが起動しない場合があります。その場合は、エクスプローラーを起動し、CDドライブを開いて、「Setup-Jpn.exe」をダブルクリックして起動してください。



3 適用する商品名のセットアップをクリックしてください。

※商品名は、本体裏側の定格ラベルに記載してあります。



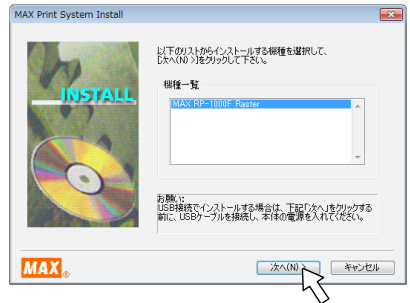
4 セットアッププログラムが起動し、右の画面となります。

5 「ドライバのインストール」をクリックすると、機種選択画面となります。

※USB接続でインストールする場合は、USBケーブルでパソコンと接続し、プリンタ本体の電源を入れてください。インストールしない場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。



- 6 MAX RP-1000F Rasterをクリックして反転表示させ、<次へ>をクリックします。

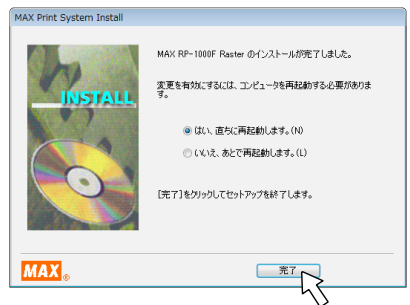


- 7 「接続ケーブル」がUSBケーブルになっていることを確認して、<次へ>をクリックします。



- 8 インストール中に「Windowsセキュリティ」「ハードウェアのインストール」「ソフトウェアのインストール」の警告画面が表示された場合には、<…インストールする> <続行>をクリックします。

- 9 インストールが終了すると右の画面となります。<完了>をクリックし、コンピュータを再起動します。



※Windowsを再起動しない場合は、プリンタドライバの正常な動作は保証できません。  
ご使用になる前に必ず、Windowsを再起動してからご使用ください。

# LAN でインストールする

※LAN接続する場合は、あらかじめIPアドレスやサブネットマスクなど必要な項目を準備してください。

※ケーブルを接続する場合は、一旦パソコンの電源を切ってから接続してください。

※他のアプリケーションを起動している場合は終了させてください。

※LANケーブルはカテゴリ5 (CAT-5) 以上のケーブルを使用してください。

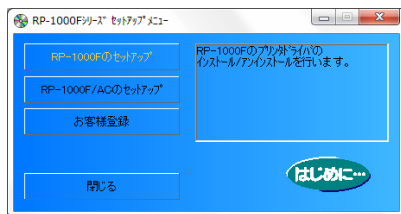
1 本体とパソコンがケーブルで接続されていることを確認して、パソコンの電源を入れます。

※パソコンの起動は、コンピュータの管理者またはアドミニストレーターの権限で起動してください。

※「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、許可を選択してください。

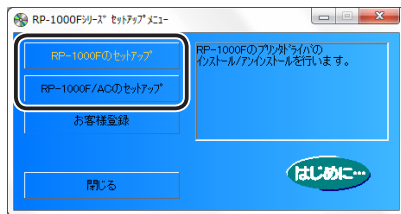
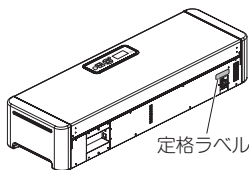
2 ドライバCDをパソコンのCDドライブに挿入します。  
ランチャが開きます。

※パソコンの設定によっては、自動でセットアッププログラムが起動しない場合があります。その場合は、エクスプローラーを起動し、CDドライブを開いて、「Setup-Jpn.exe」をダブルクリックして起動してください。



3 適用する商品名のセットアップをクリックしてください。

※商品名は、本体裏側の定格ラベルに記載してあります。



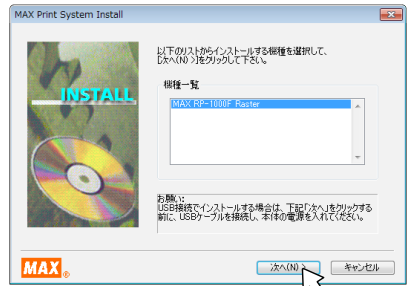
4 セットアッププログラムが起動し、右の画面となります。

5 「ドライバのインストール」をクリックすると、機種選択画面となります。

※インストールしない場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。



- 6 MAX RP-1000F Rasterをクリックして反転表示させ、<次へ>をクリックします。



- 7 「接続ケーブル」がLANケーブルになっていることを確認して、<次へ>をクリックします。



- 8 インストール中に「Windowsセキュリティ」「ハードウェアのインストール」「ソフトウェアのインストール」の警告画面が表示された場合には、<…インストールする>や<続行>をクリックします。

- 9 インストールが終了すると右の画面となります。<完了>をクリックし、コンピュータを再起動します。



※Windowsを再起動しない場合は、プリンタドライバの正常な動作は保証できません。  
ご使用になる前に必ず、Windowsを再起動してからご使用ください。

# プリンタドライバの設定

インストールしたプリンタドライバの設定画面を使って、RP-1000Fシリーズの印刷条件を設定します。

たとえば印刷する方向の指示や、印刷しようとする用紙サイズの指示は、書家の筆「SF-700」などのアプリケーションで入力した内容を正しく印刷するために必要となります。

RP-1000Fシリーズのパネルで設定できる項目と合わせてお読みください。

## 1 「スタート」→「コントロールパネル」を開きます。

※ご使用のOSによって開き方が変わりますので、それぞれのWindowsマニュアルを参照してください。

## 2 「コントロールパネル」内のハードウェアとサウンドのデバイスとプリンタの表示にカーソルを合わせてクリックし、プリンタフォルダを開きます。



## 3 「MAX RP-1000F Raster」をマウス右ボタンでクリックし、「印刷設定」を左ボタンでクリックします。

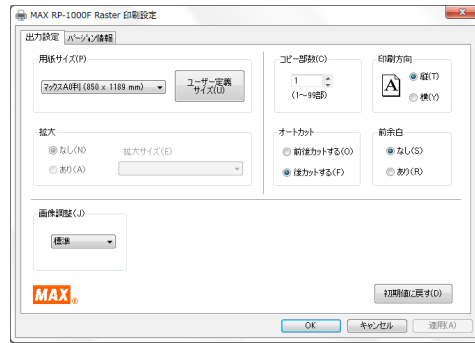
※プリンタドライバの「印刷設定」は、アプリケーション（たとえば、書家の筆「SF-700」）の「ファイル」メニューの「印刷」から「プロパティ(P)」をクリックしても表示できます。

※「プロパティ」をクリックして開く「全般」「ポート」「詳細設定」などのシートはWindowsの機能です。





# 印刷設定



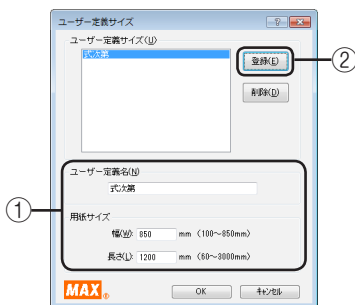
①用紙サイズ(S) …用紙サイズを設定するときにクリックします。

定型のA0(850×1189mm)・A1(640×841mm)・A2(432×594mm)と、  
長尺3mまでのA0(850×3000mm)・A1(640×3000mm)・A2(432×3000mm)・  
A3(297mm×420mm)・A4(210mm×297mm)・A5(148mm×210mm)・B4  
(257mm×364mm)・B5(182mm×257mm)の計11種類が標準として用意されて  
います。

②でユーザー定義サイズが追加されると、選択項目に現れます。

②ユーザー定義サイズ(U) …定形外のサイズを定義できます。

アプリケーションの印刷(例えば、「書家の筆」の印刷・プロパティ)からプロパティシートを  
開いた場合は、このボタンはクリックできません。



①ユーザー定義名・用紙サイズを入力します。

②登録を押して、ユーザー定義サイズを表示  
させ、OKを押します。

## MEMO

☆アプリケーションで設定した用紙サイズが標準 11 種類以外のおとき(式次第や長い垂れ幕等)  
は、ユーザー定義サイズで合わせてください。アプリケーションとドライバの用紙サイズが  
合っていないと正しく印刷できません。ユーザー定義のサイズは 20 種類登録できます。

拡大	拡大の設定をします。拡大印刷をしたいときは「する」にチェックを入れ、拡大したい拡大サイズを設定します。 用紙サイズが A3・A4・A5・B4・B5 を選択したときのみ使用可能になります。
コピー部数 (C)	印刷する枚数を指定します。設定した枚数が印刷されます。
オートカット	「前後カット」「後カット」を設定します。
印刷方向	印刷の縦・横方向を設定します。印刷する原稿の横幅が、セットされている用紙幅より大きい場合は、印刷方向「横」をクリックします。
前余白設定	パソコン画面の用紙の前端（縦長用紙の場合は上部）にある印刷できない余白（46 mm）部分に入力されているデータを送信するか設定します。 この設定は、RP-1000F シリーズ本体のオートカットが「前後カット」になっている時この設定を「なし」に設定すると、画面イメージ通りの印刷ができます。

### MEMO

☆この設定は、前後カットで前端余白部分 46 mm をカットし、画面と同じ成果物を印刷できます。

画像調整	印刷の濃度を「うすい、標準、濃い」の三段階から選択します。完全に真っ黒な部分は濃いにしてもそれ以上濃くなりませんが、画像データ等のトーンがある部分を濃くすることができます。
初期値に戻す (D)	オートカット、前余白、印刷モード、画像調整、用紙サイズ、印刷方向、コピー部数を初期値に戻します。

# 拡大印刷をする

本機はパソコンを介さずに拡大印刷をすることができます。

本機がFTPサーバとなり、外部入力機器である複合機やスキャナのFTP（ネットワーク上でファイルを転送する）機能を使うことで可能になります。

そのためFTP機器を有していない複合機等ではご使用いただけません。

FTP機能のご使用可能な機種に関しては、複合機やスキャナメーカーにご確認ください。

設定にはネットワークのアドレスが必要になります。

事前に本体で設定するIPアドレスをシステム管理者にご確認ください。

## RP本体で必要な設定

通信設定 (P28)	IPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイを設定します。
IPアドレス	システム管理者より割り振られたアドレス
サブネットマスク	使用するネットワークに合わせてください。
ゲートウェイ	使用するネットワークに合わせてください。

FTP設定 (P29)	本機へのFTP通信を許可するユーザー名とパスワードを設定します。
ユーザー名	任意で設定してください (初期値: RP1000F)
パスワード	任意で設定してください (初期値: RP1000F)

## 外部入力機器 (複合機やスキャナ) で必要な設定

外部入力機器の設定は本体で設定する場合と、PC上で設定する場合がありますので、設定方法に関しては各外部出力機器の取扱説明書をご覧ください。

※本機はモノクロ印刷を行うサーマルプリンタですので、スキャンする際にはモノクロでのスキャンをおすすめします。

フルカラーでのスキャンは、処理に時間がかかる場合があります。

# 用紙

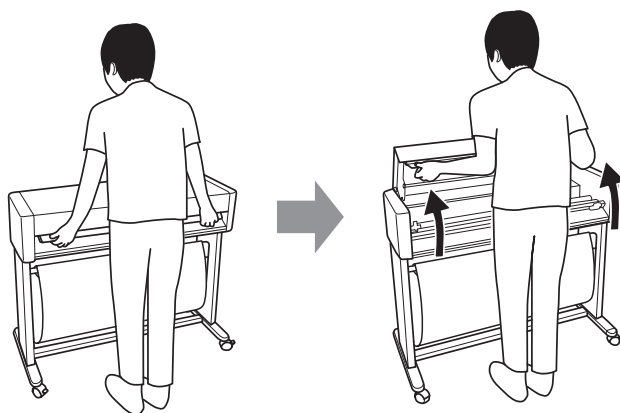
RP-1000F シリーズで使用する用紙はサーマルロール紙で、サーマルヘッドの発熱したところが黒く変わります。マックスのサーマルロール紙は RP シリーズで最適な発色と耐光性が得られるように作られた特殊な用紙です。

## お願い

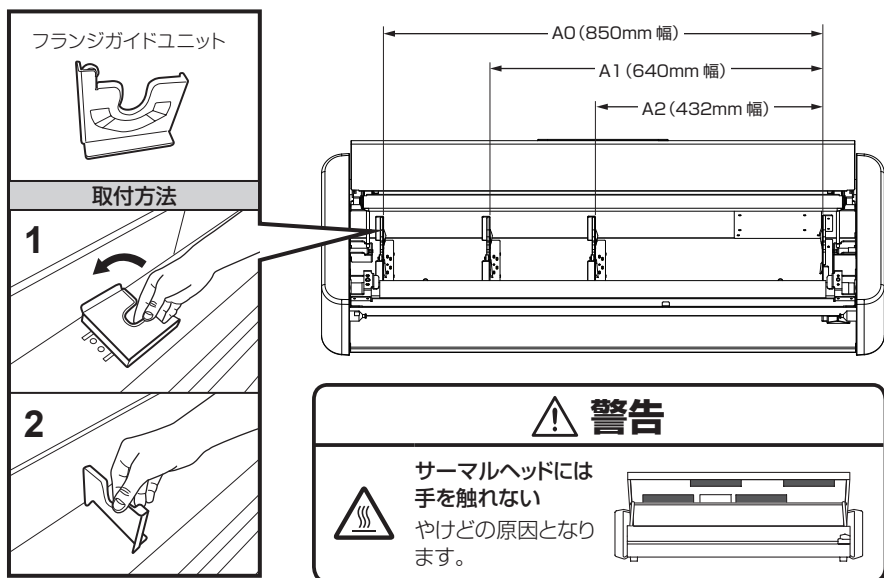
1. サーマルロール紙は、必ず専用用紙をご使用ください。
2. 専用サーマルロール紙は次のような場所で保管してください。
  - ①温度 5℃～35℃
  - ②湿度 35%～70%
  - ③直射日光の当たらないところ（暗いところ）  
開封後のサーマルロール紙を一時保管する場合は、包装されていた黒いビニールシートに包んで保管してください。
3. マックス専用サーマルロール紙以外は、機械本体のカッターで切断しないでください。
4. 純正品以外の用紙をご使用になりますと、良質な印字品質が得られないだけでなく、サーマルヘッドやローラーの摩耗など機器本体への悪影響にもつな갑니다。  
(純正品以外の消耗品ご使用による機器トラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。)

## 用紙のセット方法

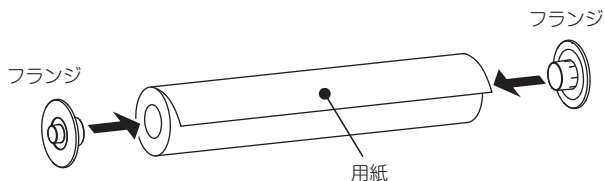
1 本体手前の取っ手を引き、ヘッドカバーを開けます。



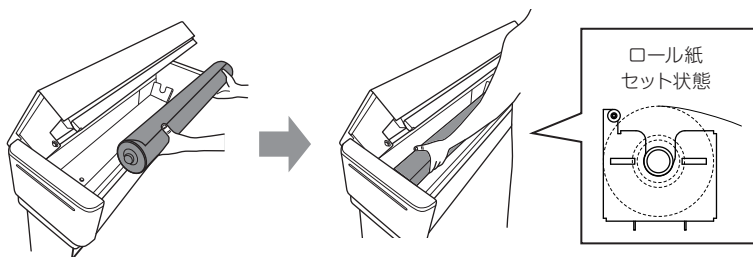
2 使用する用紙のサイズに合わせて、本体のフランジガイドユニットをセットします。



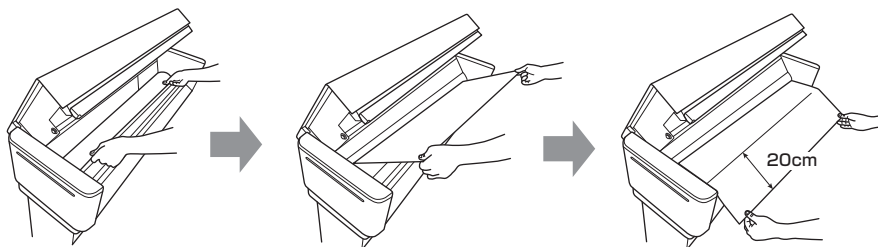
3 用紙の梱包を開き、用紙の芯にフランジ（左・右）を用紙の端面にあたるまでしっかりと差し込みます。



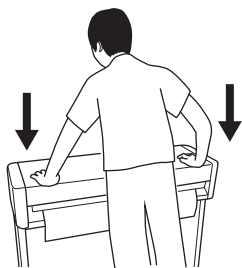
4 サーマルロール紙の巻を上にして、本体のフランジ受け部の手前にのせて、フランジ受け部に落とし込みます。



- 5 用紙排出口から出てきたサーマルロール紙を、両端を持ちながら平行に引いて、本体から約20cm程出た状態にします。



- 6 ヘッドカバーを上から押さえつけるようにして閉めます。



**!** 注意



ヘッドカバーを閉めるとき、指をはさまないように注意する

※用紙が本体より20cm程度引き出されていることを確認してください。ロール紙が出ていないと、紙送り不良の原因となります。

※用紙交換直後の最初の一枚を印刷するときは、自動的に先端カットが入ります。

# 用紙の種類

RP-1000Fシリーズでは、用途に合わせて9種類の専用紙を用意しております。専用紙をセットすると、用紙情報を自動で取得し、用紙種類に適した印刷エネルギーで印刷ができます。用紙によって最大印字速度は異なります。

## 用紙の種類と最大印字速度

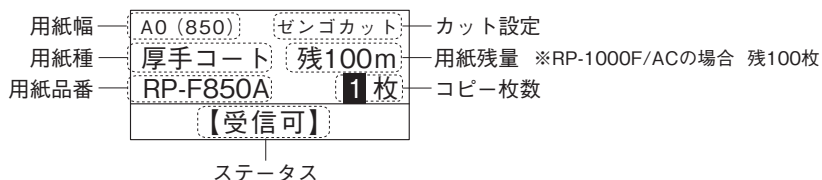
用紙種類	用紙品番	RP-1000F	RP-1000F/AC	最大印字速度
厚手コート紙	RP-F***A	●		24.9mm/sec
感熱紙G	RP-F***GK	●	●	
耐光紙	RP-F***E	●		
耐水紙	RP-F***WP	●		20.7mm/sec
感熱紙	RP-F***K	●		
木目紙	RP-F***WA	●		
合成紙	RP-F***YG	●		17.8mm/sec
クロス合成紙	RP-F***YC	●	●	
白色・高保存紙	RP-F***RW	●	●	

※ \*\*\* には、それぞれご使用用紙の幅が入ります。

850:850mm    640:640mm    432:432mm

※用紙サイズによる最大印字速度の違いはありません。

※最大印字速度は温度環境などにより自動で切り替わり、ヘッドへの負荷を軽減する仕様になっております。



用紙幅： 現在セットされている用紙の幅を表示しています。

用紙種： 現在セットされている用紙の種類を表示しています。

用紙品番： 現在使用している用紙の品番を表示しています。

カット設定： 現在のカットの設定を表示しています。詳しくはP27をご確認ください。

用紙残量： セットされている用紙の残量を表示しています。表示は目安です。

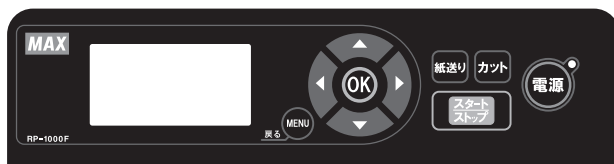
コピー枚数： コピー印刷する際の枚数を表示しています。詳しくはP26をご覧ください。

ステータス： ステータスを表示しています。

# 操作

## 操作パネルの説明

パネルを操作することによりRP-1000Fシリーズの通信方法や用紙の種類を選択したり、テスト印字を実行することができます。この章のプリンタドライバで設定できる項目と合わせてお読みください。



### 操作パネルの機能

操作パネルにあるキーの機能は以下のとおりです。

	操作パネルの電源を入切ります。操作パネルの電源を切った状態でも、本体裏側の電源スイッチが入っていれば、データを受信すると自動で立ち上がります。(7ページ参照)
	各種設定メニューに移行します。ここで設定した内容は、電源を切っても保持され、次に使用するときにも設定は有効です。
	印刷待機状態に、このキーを押すことで1cm単位で用紙を送り出します。
	印刷待機状態では、オートカッターを動作させ、用紙をカットします。用紙セット直後に使用します。
	印刷中に押すと、印刷を一時停止します。 印刷データが本体内にあるときは、その内容をコピー印刷します。
	設定時のカーソル移動に使用します。待機状態ではコピー枚数を変更します。
	選択した設定を確定します。

### LED状態

LED 状態	本体状態
緑のみ点灯	ソフトウェア電源が入っており、エラーがなく、印刷データ受信・ユーザ操作を待機している状態。
緑のみ点滅	印刷データ受信中。
赤のみ点灯	軽微なエラーが発生している。
赤のみ点滅	回復可能なエラーが発生している。
緑赤交互点滅	回復不可能なエラーが発生している。



---

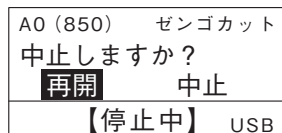
## 印刷の停止

印刷中に **スタート**  
**ストップ** キーを押すと、印刷を停止し、再開/中止を選択する画面を表示します。

再開か中止を選択してください。

再開：用紙カット後、印刷を再開します。

中止：用紙カット後、印刷を中止します。



## コピー印刷

直近に受信したデータ・ファイルを現在の本体設定で再度印刷することができます。

待機画面で **スタート**  
**ストップ** キーを押すと、印刷が開始します。

# MENU

## MENUキーで設定できる項目

	項目	概要	初期値	設定範囲
①	表示濃度	LCD の表示濃度を調整設定します。	中央	14 段階
②	用紙枚数	1 回のコピー印刷で印刷する枚数を指定します。	1 枚	1 枚～ 99 枚
③	カット	前後カット、後カット、カット使用できない、から選択します。前後カットのときは 1 枚印刷する毎に、用紙の前端余白をカットし、印刷終了後にカットします。	前後カット	カット使用できない 前後カット 後カット
④	通信	ネットワークで使用するときの設定を行います。	IP アドレス 192.168.011.001 サブネットマスク 255.255.255.000 ゲートウェイ 192.168.011.001	—
⑤	FTP 設定	本機への FTP 通信を許可するユーザ名とパスワードを設定します。	ユーザー名 RP1000F パスワード RP1000F	—
⑥	MAC 表示	MAC アドレスを表示します。	—	—
⑦	オートパワー オフ	電源のオートパワー OFF の有効・無効を設定する。 オートパワー OFF の時間を設定する。	10 分後にオフ にする	10 分後、30 分後、 1 時間後、3 時間後、 なし
⑧	長尺余白	長尺モードを設定します。複合機やスキャナから複数枚数の原稿をスキャンし、1 枚の長尺のものを出力するときの余白の設定をします。	小	なし・小・大
⑨	テスト印刷	本機単体でテスト印刷を行います。	No.1 400mm	No.1 ～ No.5 10mm ～ 1000mm
⑩	Ver 表示	本体のバージョンを表示します。	—	—

※これらの項目は、電源をOFFしても直前に設定されていた状態がメモリーされます。次に電源がONされたときは、そのメモリーされた内容が復帰します。

## 表示濃度、印刷枚数の設定

LCD画面の表示濃度の設定と、用紙枚数の設定を行います。

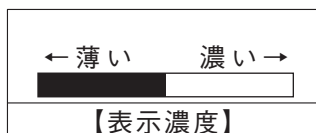
### ■表示濃度調整

LCDの表示濃度を調整します。

- 1 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。  
「表示濃度」が反転表示されている状態で **OK** キーを押します。



- 2 表示濃度を ◀ ▶ キーで調整します。



- 3 適正な状態に調整できたら **OK** キーを押します。印刷待機画面に戻ります。

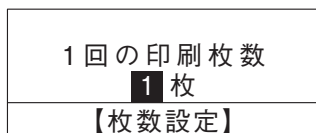
### 用紙枚数の設定

1回のコピー印刷で印刷する枚数を指定します。ここで設定された枚数は、電源を切っても有効です。

- 1 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。  
▼ キーで「用紙枚数」を反転表示させ **OK** キーを押します。



- 2 印刷枚数を ▲ ▼ キーで設定します。



- 3 印刷枚数が決まったら **OK** キーを押すと印刷待機画面に戻ります。

# カットの設定

印刷待機画面を表示させます。

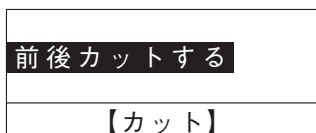
## ■カット設定

本機に搭載しているオートカッターの動作を設定します。

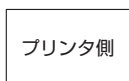
- 1 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。  
▼ キーで「カット」を反転表示させ **OK** キーを押します。



- 2 ▲ ▼ キーで設定を変更します。  
オートカッターの動作は次の3パターンとなります。  
目的のカット方法を選択し、**OK** キーを押します。



### 前後カット

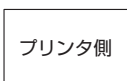


前端的余白(46mm)

カット位置

カット位置

### 後カット



前端的余白(46mm)

カット位置





- 3 **OK** キーが押されることで、印刷待機画面に戻ります。

## 通信設定

### MEMO

☆パソコンとの接続は、USB/LAN が使用できます。  
ここでは、LAN で使用するための設定を行います。  
USB は設定の必要はありません。

- 1 印刷待機画面で  キーを押し、メニューを表示させます。  
▼ キーで「通信設定」を反転表示させ  キーを押します。


【 M E N U 】 ▲	
4 .	通信設定
5 .	FTP 設定
6 .	MAC 表示 ▼

- 2 ネットワークで使用するために、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの3つのアドレス設定を行います。

IP アドレス
192.168.011.001
【 通 信 】

### MEMO

☆設定方法は、1桁ずつ行います。

- ◀ ▶ キー : 各桁間の移動
- ▲ ▼ キー : 数字指定に使用します。
-  キー : 設定した値を確定します。

サブネットマスク
255.255.255.000
【 通 信 】

ゲートウェイ
192.168.011.001
【 通 信 】

- 3  キーで通信設定を確定し、印刷待機画面に戻ります。

# FTP設定

FTP通信をするためのユーザー名とパスワードを設定します。

- 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。  
▼ キーで「FTP設定」を反転表示させ **OK** キーを押します。



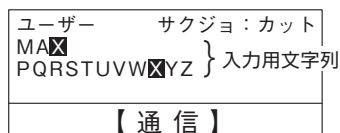
- ネットワークで使用するために、ユーザー名・パスワードの設定を行います。



**MEMO** ✍️

☆設定方法は、1桁ずつ行います。

- ▲ ▼ ◀ ▶ キー：各桁間の移動
- OK** キー：設定した値を確定します。
- カット** キー：文字の削除



入力用文字列は

0123456789

ABCDEFGHIJKLMNO

PQRSTUVWXYZ

となっています。

例：MAXとする場合

まず初期値の「RP1000F」を **カット** を7回押して削除します。

「M」は ▼ を2回押し、▶ を12回押しして **OK** を押します。

続いて「A」は ◀ を12回押しして、**OK** を押します。

「X」は ▼ を1回押し、▶ を8回押しして、**OK** を押します。

▲ を3回押し、**OK** を押して登録します。


- ユーザー名、パスワードの入力が終わったら、**OK** キーでFTP設定を確定し、印刷待機画面に戻ります。

---

## MACアドレスの表示

MACアドレスを表示します。


1 印刷待機画面で  キーを押し、メニューを表示させます。

▼ キーで「MAC表示」を反転表示させ  キーを押します。



2 MACアドレスが表示されます。




3 確認をしたら  キーを押すと印刷待機画面に戻ります。

## オートパワーオフの設定

オートパワーオフの機能の有効／無効を設定します。

1 印刷待機画面で  キーを押し、メニューを表示させます。

▼ キーで「オートパワーオフ」を反転表示させ

 キーを押します。

	【MENU】 ▲
7.	オートパワーオフ
8.	長尺余白
9.	テスト印刷 ▼

2 ▲▼ キーで、「オートパワーオフ」機能を使用するか選択します。

するを選択したときには、オートパワーオフの時間を選択することができます。

◀ ▶ を押して「10分後」「30分後」「1時間後」「3時間後」「なし」を設定できます。


操作なし	10分後
自動電源オフする	
【パワーオフ設定】	

### MEMO

☆バックライト消灯状態から点灯状態に戻すには、電源キーを押すか、パソコンからデータが送られたときに点灯状態に戻ります。

☆消灯状態からの操作では、操作パネルの電源キー操作の1回目では点灯状態に戻り、2回目からキーの機能が使用できます。

操作なし	10分後
自動電源オフしない	
【パワーオフ設定】	

3  キーでオートパワーオフ設定を確定し、印刷待機画面に戻ります。

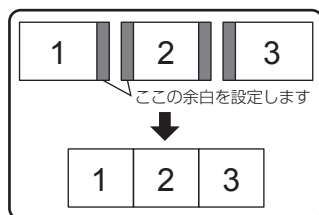


## 長尺余白の設定

この機能は複合機やスキャナから複数枚数の原稿をスキャンし、1枚の長尺のものを出力するときの余白の設定をします。

longフォルダ<sup>\*1</sup> にファイルを受信したとき、セットされている用紙に合わせて、1枚目の画像の長辺と短辺を認識し、短辺を用紙幅方向にして、拡大後サイズが印刷幅になるよう拡大して、同じ回転の向きで全ページを切れ目なく印刷します。

<sup>\*1</sup> longフォルダに関しては外部入力機器からの出力方法をご確認ください。



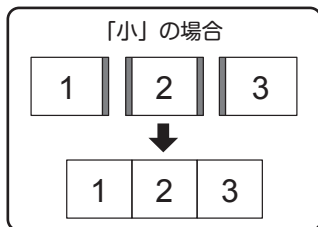
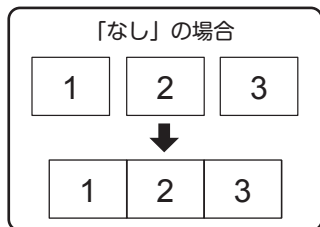
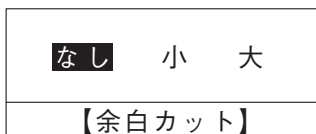
### ■長尺余白の設定

長尺余白を設定します。

- 1 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。  
「長尺余白」が反転表示されている状態で **OK** キーを押します。



- 2 長尺印刷を ◀ ▶ キーでする／しないを選択します。  
なし：原稿をそのままつなげます。  
小：原稿の長辺の長さ3.9%をカットしてつなげます。  
A4の場合 約11.5mmカット  
大：原稿の長辺の長さ4.6%をカットしてつなげます。  
A4の場合 約13.7mmカット



※「大」の場合は  
右上の図参照

- 3 設定をしたら **OK** キーを押します。印刷待機画面に戻ります。

## テスト印刷

プリンタ単体で印刷テストを行うことができます。パソコンからの印刷とは異なり通信設定にかかわらず印刷することができ、不具合時の切り分けに役立ちます。

- 1 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。  
▼ キーで「テスト印刷」を反転表示させ **OK** キーを押します。

<b>【MENU】</b>	▲
7. オートパワーオフ	
8. 長尺余白	
9. <b>テスト印刷</b>	▼

- 2 テストパターン選択画面が表示されます。

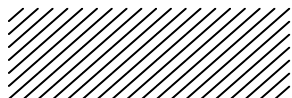
### MEMO

☆テストパターンを下記 5 種類の中から ▲ ▼ キーで選択し、続いて ▶ キーで印刷長さの項目に移動し、▲ ▼ キーで入力します。

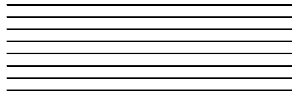
スタートキー：インサツスル	
<b>No 1</b>	400mm
斜線	
<b>【テスト印刷】</b>	

- 3 **スタートストップ** キーでセットされた用紙に合わせて印字します。印刷終了後、印刷待機画面に戻ります。

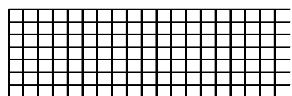
No 1 斜線



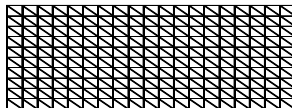
No 2 横線



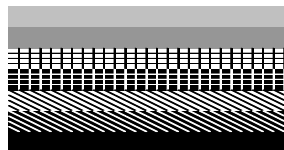
No 3 格子



No 4 斜線格子



No 5 パターンA



テスト印刷長さ

10mm、20mm、40mm、80mm、100mm、200mm、400mm、800mm、1000mm

---

## バージョンの表示

バージョンを表示します。

- 1 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。  
▼ キーで「Ver表示」を反転表示させ **OK** キーを押します。



- 2 バージョンが表示されます。



- 3 確認をしたら **OK** キーを押すと印刷待機画面に戻ります。

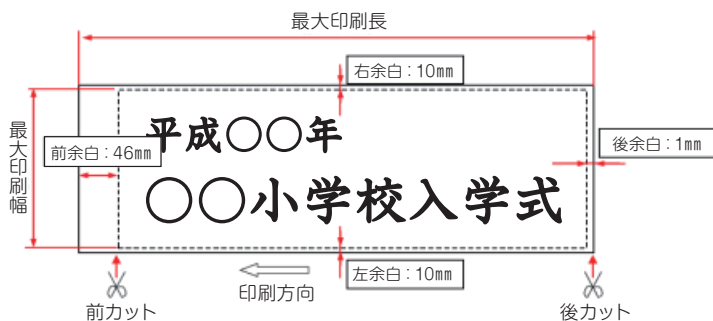
# 印刷の仕様

## PC 印刷

項目	仕様
最大印刷幅	A0 : 832mm、A1 : 624mm、A2 : 416mm
最大印刷長	ラスタドライバ : 3m、パススルードライバ : 10m
余白	最小 前 : 46mm (前カット設定では 0mm)、左右 : 10mm、後 : 1mm プリンタドライバにて設定可能
前余白カット	前カット設定が ON の場合、先頭の 46mm をカットする

### 1枚印刷するときの余白設定のイメージ

<通常印刷>

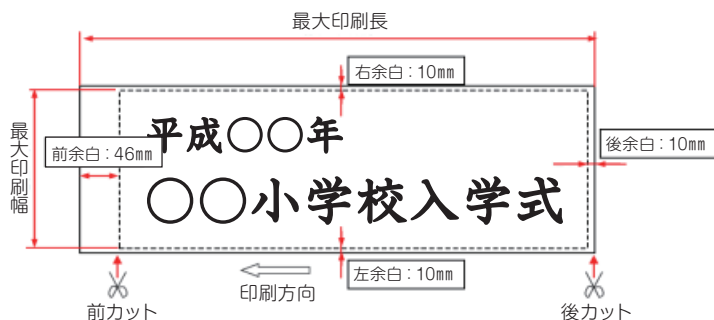


## 外部接続機器からの印刷

項目	仕様
最大印刷幅	A0 : 832mm、A1 : 624mm、A2 : 416mm
最大印刷長	長尺印刷設定でA4原稿 8枚 または 10m
余白	最小 前 : 46mm (前カット設定では 10mm)、左右 : 10mm、後 : 10mm
前余白カット	前カット設定が ON の場合、先頭の 36mm をカットする

### 1枚印刷するときの余白設定のイメージ

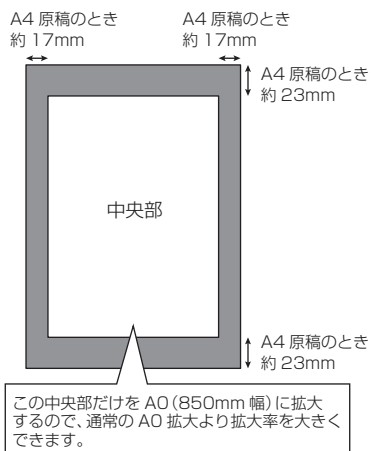
<通常印刷>



### A0plus (原稿の中央部だけを拡大)

本体に850mm幅の用紙がセットされているときにA0plusフォルダにファイルを受信すると、画像の長辺と短辺を認識し、短辺を用紙幅方向にして、右図のように原稿の中央部だけを拡大後サイズが印刷幅になるよう拡大して印刷します。

※余白設定を狭くして作成した原稿や教科書などの余白は、少ない原稿をご使用の場合は印字欠けをしていないか、しっかり確認した上でご使用ください。



## FTP受信ファイルの形式

ファイル名は、拡張子を含め半角で256文字以内

対応ファイル形式：PDF・JPEG

長尺印刷の場合は1ファイルにつきA4サイズ8ページ以内 かつ10m以内（PDFのマルチページのみ対応）

本体が一時保存できる容量はA4原稿をカラー600dpiでスキャンした原稿約15枚以内（ただし原稿のデータ内容やサイズ、圧縮率により変わります（目安です））

## 出力サイズ

※出力の目安のサイズは、カット設定：前後カット、原稿サイズ：A4タテ（横サイズ210mm×縦サイズ297mm）をスキャンしたときのサイズを表示しています。

フォルダ	セットされている用紙幅	出力の目安サイズ（幅×長さ）	拡大率
A0	850mm	850mm×1193mm	394.9%
	640mm	用紙幅エラー	
	432mm	用紙幅エラー	
A1	850mm	850mm×606mm（原稿を回転）	279.5%
	640mm	640mm×896mm	294.9%
	432mm	用紙幅エラー	
A2	850mm	用紙幅エラー	
	640mm	640mm×458mm（原稿を回転）	208.8%
	432mm	432mm×602mm	196.0%
A0Plus	850mm	850mm×1193mm	467.0%
	640mm	用紙幅エラー	
	432mm	用紙幅エラー	
long 未設定	850mm	850mm×1193mm	394.9%
	640mm	640mm×896mm	294.9%
	432mm	432mm×602mm	196.0%

# エラー表示

LCDやパソコン(ステータスモニタ)に表示されるエラーメッセージです。RP-1000FシリーズでエラーがあるとLEDが赤・緑交互の点滅をして、下記のLED表示がされます。

タイトル	原因	対処方法
【200】 ヘッドカバーが開いています	本体のヘッドカバーが開いています。	本体のヘッドカバーを閉じてください。
【201】 用紙がありません	本体に用紙がセットされていません。	印刷する幅の用紙を本体にセットしてください。
【202】 本体にセットされている用紙幅より、印刷しようとしている用紙幅が大きいです	本体にセットされている用紙幅より、印刷しようとしている用紙幅が大きいです。	印刷する幅の用紙に交換してください。
【203】 用紙の長さが不足しています	用紙の長さが不足しています(本体で残量警告が表示されています)	用紙の残量を確認して、本体で発行または中止を選択してください。
【205】 ヘッドカバーが開いています	本体のヘッドカバーが開いています。	本体のヘッドカバーを閉じてください。
【206】 用紙がありません	本体に用紙がセットされていません。	印刷する幅の用紙を本体にセットしてください。
【207】 ヘッドが印刷開始できる温度より高温です	ヘッドが印刷開始できる温度より高温です。	そのままお待ちください。ヘッドの温度が適切な温度まで下がると印刷を自動で再開します。
【208】 用紙の先端が検出できません	本体にセットされている用紙の先端が引き出されていません。	用紙の先端 20cm を引き出してセットしてください。
【220】 対応されていないファイル形式です	対応されていないファイルが送信されました。	送信元の設定を見直して、対応しているファイル形式(PDF、JPEG)を選択してください。
【221】 ファイルの受信を失敗しました	ファイルの送信中にエラーが発生しました。	ファイルを送信し直してください。
【222】 ファイルサイズがオーバーしました	サイズが大きいファイルが送信されました。	送信元の設定を見直して、ファイルサイズが小さくなる設定を選択してください。解像度を小さくしたり、白黒設定をお試しください。
【250】 本体にセットされている用紙幅より、印刷しようとしている用紙幅が大きいです	本体にセットされている用紙幅より、印刷しようとしている用紙幅が大きいです。	印刷する幅の用紙に交換してください。
【251】 印刷停止操作中です	本体で印刷停止操作中です。	本体で印刷停止操作を完了させてください。
【252】 用紙残量が不足しています	印刷長に対して用紙残量が不足しています。	セットしてある用紙残量を確認してください。不足している場合には新しい用紙をセットしてください。
【253】 用紙を正しくセットしてください	用紙の左右を間違えてセットしています。	用紙の左右を確認してセットし直してください。
【254】 用紙残量がなくなりました	用紙の残量がなくなりました。	新しい用紙をセットしてください。

タイトル	原因	対処方法
【255】～【262】 用紙を正しく認識できません	取得した用紙情報に異常があります。	新しい用紙をセットしてください。
【263】 対応外の用紙エラー	本機では対応していない用紙です。対応している用紙をセットしてください。	1000F/ACのみ表示されます。 (対応用紙は22ページ参照)
【300】 ヘッドが所定の温度より、 高温になっています	プリンタヘッドが、高温になっています。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②本体の電源を切り、必ずコンセントから電源プラグを抜きます。 ③ヘッドカバーを開けた状態で、涼しい場所にしばらく放置してください。 ④本体の電源を入れます。 ⑤再度、印刷を行ってください。
【301】 ヘッドが所定の温度より、 低温になっています	プリンタヘッドが、低温になっています。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②本体の電源を切り、必ずコンセントから電源プラグを抜きます。 ③10℃以上の場所に、しばらく放置してください。 ④本体の電源を入れます。 ⑤再度、印刷を行ってください。
【302】 パソコンからデータ受信中 に、データが途絶えました	パソコンから印刷実行時に、所定時間経過してもデータの受信が完了していません。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を切ります。 ③パソコンを再起動してください。 ④本体とパソコンの接続を確認してください。 ⑤本体の電源を入れます。 ⑥再度、印刷を行ってください。 ※うまくいかない場合は、ステータスマニタのタイムアウト設定を変更してください。
【303】 本体がパソコンから受信したデータの異常です	パソコンから印刷時に、受信したデータに異常があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を切ります。 ③パソコンを再起動してください。 ④本体とパソコンの接続を確認してください。 ⑤本体の電源を入れます。 ⑥再度、印刷を行ってください。
【304】 本体がパソコンから受信できるデータ量を超えました	本体が受信できるデータ量を超えました。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を入れ直してください。 ③レイアウトサイズを小さくしてから、再度印刷を行ってください。
【305】 本体がパソコンから受信できるデータ量を超えました	本体が受信できるデータ量を超えました。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を入れ直してください。 ③レイアウト上の文字を減らしてから、再度印刷を行ってください。
【350】 本体が印刷できる状態ではありません	本体が操作中です。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の操作を終了し、本体の電源を入れ直してください。 ③再度印刷を行ってください。
【400】 プリンタヘッドが異常です	プリンタヘッドが異常です。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を入れ直してください。 ③再度印刷を行ってください。 ※直らない場合は修理が必要です。ご購入の販売店、または最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。



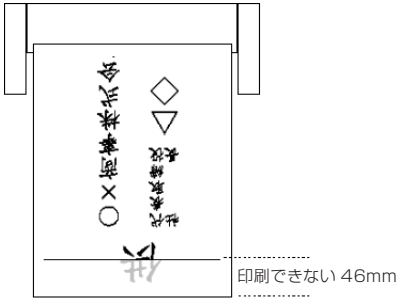
タイトル	原因	対処方法
【401】 カッターが正常に動作しませんでした	カッターが正常に動作しませんでした。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を切ります。 ③ヘッドカバーを開けて、カッター経路上の紙詰まり等を取り除いてください。 ④本体の電源を入れます。 ⑤27ページを参照し、カットの設定を行ってください。 ⑥再度、印刷を行ってください。 ※直らない場合は修理が必要です。ご購入の販売店、または最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。
【500 番号】 本体の異常です	本体の異常です。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を入れ直してください。 ③再度印刷を行ってください。
【600 番号】 本体の異常です	本体の異常です。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を入れ直してください。 ③再度印刷を行ってください。
【700】 不明なエラーが発生しました	不明なエラーが発生しています。	①「印刷中止」ボタンをクリックしてください。 ②本体の電源を入れ直してください。 ③再度印刷を行ってください。
【800】 パラメータエラー	修理が必要です。	ご購入の販売店、または最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。
【900】 通信エラー	本体の電源が入っていません。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②電源コードがコンセントに差し込まれているか確認し、本体の電源を入れてください。
	ケーブルが接続されていないか、正しく接続されていません。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②USB または LAN ケーブルを本体に正しく接続してください。
	IP アドレスの設定が、パソコン側と本体側で一致していません。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②本体の設定で IP アドレスを確認してください。
【901】 通信エラー	データ送信中に本体の電源が切れた可能性があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②電源コードがコンセントに差し込まれているか確認し、本体の電源を入れてください。
	ステータスマニタのタイムアウトの設定が最適ではない可能性があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②ステータスマニタの設定画面で、お使いのケーブルのタイムアウト時間を設定してください。
【902】 通信エラー	データ受信中に本体の電源が切れた可能性があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②電源コードがコンセントに差し込まれているか確認し、本体の電源を入れてください。
	ステータスマニタのタイムアウトの設定が最適ではない可能性があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②ステータスマニタの設定画面で、お使いのケーブルのタイムアウト時間を設定してください。
【903】 通信エラー	ステータスマニタが正常に動作していない可能性があります。	①「印刷中止」ボタンをクリックします。 ②パソコンを再起動してください。 ※直らない場合はドライバを再インストールしてください。
【990】 本体の異常です	本体の異常です。	ご購入の販売店または最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。

# こんなときには

## 故障かな？

ご使用中に「故障かな?」と思われる症状が起きましたら、まずこの章をチェックしてみてください。もし、この章の「解決方法」を行っても症状が消えないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

症状	ご確認ください	対処方法
1 電源が入らない	電源の容量不足	RP-1000Fシリーズが正常に動作するにはAC100V/10Aが必要です。タコ足配線されていると容量が不足する場合があります。
	電源ケーブルの異常	電源ケーブルがコンセントに根元まで入っていない、傷がついて漏電していないか確認してください。
2 USB通信でデータが送れない、またはパソコンにエラー表示が出て印刷されない	パソコン側にドライバが正しくインストールされていない。	10ページからのプリンタドライバインストールで、USBドライバを選択します。ドライバのインストールでご使用の機種を選択してやり直してください。
	2m以上の長さのUSBケーブルを使用している。	パソコンによっては2m以上のUSBケーブルで接続すると通信波形が変形するものがあります。2m以内のケーブルを使うか、2m以上で使いたい場合はパソコン側にハブを入れてください。
3 LAN通信でデータが送れない、またはパソコンにエラー表示が出て印刷されない	パソコン側にドライバが正しくインストールされていない。	10ページからのプリンタドライバインストールで、LANドライバを選択します。ドライバのインストールでご使用の機種を選択してやり直してください。
	IPアドレスの設定が合っていない。	接続する機器の取扱説明書を参照し、正しいアドレスを設定してください。
4 FTP通信で外部入力機器（複合機やスキャナ）からデータが送れない	外部入力機器の設定が合っていない	29ページからのFTPの設定・外部入力機器の取扱説明書を参考にし、正しく設定を行ってください。
5 カッターが使用できない	カッターの設定が「使用できない」になっている	カッターに異常がある場合に、自動的に「使用できない」設定になります。主電源の入/切を行っても改善しない場合はご購入の販売店または最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。

6	きれいな印字ができない	印刷するとシワができる。	21ページの図のように用紙を引き出すときに、平行（ブラテンローラ付近でシワができていない）になるようにご注意をお願いいたします。また、用紙を黒いビニールに入れないまま、寒い環境から急に暖めると用紙に水滴が付くことがあります。水滴が付いた用紙に印刷するとシワができます。
		印刷の排紙方向に印刷されない線が入る。	サーマルヘッドが汚れている可能性があります。同梱の専用クリーナーペンを使用してサーマルヘッドをクリーニングしてください。ヘッドにキズをつける硬いものやシンナーなどの薬品は使わないでください。
		印刷の幅方向に細い線が入る。	38ページの「ヘッド温度上昇」のエラー表示が出たときは、印刷が一時中断するために細い白線が出る場合があります。ご了承ください。
		4本のヘッドのつなぎ目に段差ができる。	RP-1000Fシリーズ本体の上ヘッドカバーの上に物を置いたり、手を据えたりすると段差ができる場合があります。
7	その他	本体内からファンが回ったり止まったりする音がする	本体内にサーマルヘッドを冷却するファンが入っています。このファンはサーマルヘッドが温まると自動的に回転し、冷えると止まりますので異常ではありません。
		印刷途中で速度が速くなったり遅くなったりする	寒い場所で使うときは、室温を検知して熱量を上げるために低速で印刷します。サーマルヘッドが温まると指定した用紙感度の速度で印刷します。
		印刷の先頭が印字されない	用紙サイズに対して、先端に印刷できない余白46mmがあります。アプリケーションで文字を配置するときに、この先端46mmにはかからないようにしてください。 

---

## お手入れ方法

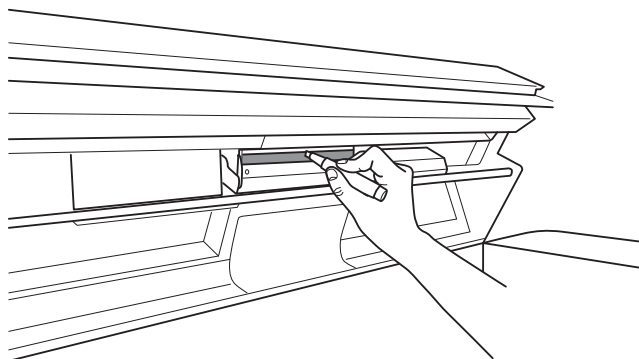
お手入れをする際は必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

### 印刷物に白いスジが入る

サーマルヘッドに汚れや傷がついている可能性があります。

→サーマルヘッドが冷えてから、クリーニングペンを使用してサーマルヘッドをクリーニングしてください。

ヘッドに傷をつける硬いものや、シンナーなどの薬品は使わないでください。



### 用紙がまっすぐ送られない

プラテンや押さえバーにゴミが付いている可能性があります。

プラテンに紙切れや紙粉が付着している場合は、取り除くかしっかり絞った布でプラテンを拭いてください。

押さえバーに糸くずが巻き付いている場合は手で取り除いてください。

それでも改善されない場合は、プラテンに傷がついている可能性があります。

ご購入の販売店または最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。

# 付録

## 主な仕様

商品名	RP-1000F・RP-1000F/AC
印刷方式	4本ヘッド・ラインサーマル方式
印刷解像度	203DPI (8dot/mm)
最大印刷速度	マックス専用紙 用紙感度 1 24.9mm/秒 用紙感度 2 20.7mm/秒 用紙感度 3 17.8mm/秒
最大印刷幅	A0 選択時：832mm、A1 選択時：624mm、A2 選択時：416mm
ロール紙仕様 (マックス専用紙)	サイズ：A0 幅 850mm×100m A1 幅 640mm×100m A2 幅 432mm×100m 用紙の種類によっては巻メートルが短くなります。 ロール紙外径 最大110mm
用紙カット	自動カット（前端余白カット、印字終了後カット） 手動カット（操作パネル<カット>キー押下による）
前端余白	46mm（設定により自動カットできます）
受信可能コマンド	MAX-FGL I 10m
最長印字長さ	MAX-PCL 3m
インタフェース	USB2.0 フルスピード LAN（100BASE-TX・10BASE-T AUTOMDIX）
動作音	印刷時 60dB カット時 70dB
動作環境	温度：10℃～35℃ / 湿度：20%～80%（結露なきこと）
保存環境	温度：-20℃～60℃ / 湿度：10%～85%（結露なきこと）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時：40W 印刷時：700W
外形寸法	1110(W)×345(D)×230(H) mm
質量	37kg

# 保証書

本保証書は、ご購入日から本保証書に定める保証期間内に故障が発生した場合に、下記に定める無償修理規定の内容で、無償修理することをお約束するものです。修理の際は、必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

## ■無償修理規程

### 1. 無償修理の対象

取扱説明書、本製品貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態のもとで、本製品が保証期間内に万一故障した場合に、無償修理をさせていただきます。

(イ) 無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本保証書を添えてご依頼ください。

(ロ) ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、お近くのマックス(株)またはマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。

### 2. 保証期間内でも次のような場合には有償修理または修理その他のサービスの対象外となります

- ① 使用上の誤り、他の機器から受けた障害、当社もしくは当社の認定する機関以外による修理や改造による故障および損傷
- ② ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障および損傷
- ③ 火災、地震、風水害、落雷その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
- ④ 本保証書のご提示がない場合
- ⑤ お客様登録カードにご購入年月日、お客様名、ご購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- ⑥ 消耗品、付属品などの交換や指定の手入れを怠ったことに起因する故障および損傷
- ⑦ サーマルヘッド、プラテンローラ、カッターユニット等の使用頻度により摩耗・劣化する部品は、消耗部品につき保証対象外とします。
- ⑧ 本製品本体を利用するために必要な、使用することでその機能を失うかあるいは消費されなくなってしまう物品は、消耗品につき保証対象外とします。

### 3. お客様のご負担となる費用

- ① 修理の際のお預かり、ご返却に伴う送料はお客様のご負担となります。
- ② 本製品に異常がない状態での点検に伴う費用はお客様のご負担となります。

### 4. その他

- ① 本製品の故障などに伴う2次の損害に対する保証はいたしません。
- ② 修理の際に取り外した部品の所有権は、マックス(株)に帰属します。
- ③ 本製品の動作に影響のない外観上の不良(経年劣化や日焼けによる変色・退色を含むがこれに限られない)については、保証および修理の対象外とします。
- ④ 生産後、一定期間が経過した場合およびアフターメンテナンスが終了している場合には、保証および修理ができない場合があります。
- ⑤ 保証および修理の対応に際して、環境保全の観点から、品質・性能を確認した再生部品を使用させていただく場合があります。
- ⑥ 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

# お客様登録カード

当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。このお客様登録カードは、ご登録いただいたお客様に今後大切なお知らせをするために必要なものです。オンライン登録又は必要事項をご記入の上、FAXにて送信してください。当社では、お客様の個人情報の重要性を深く認識し、お客様からご提供いただきました個人情報を適正に取扱い、その保護の徹底を図ることは当社の社会的責務であると考えております。個人情報につきましては弊社HPに掲載しているプライバシーポリシーをご覧ください。

## ①インターネットにて登録の方 URL [https://wis.max-ltd.co.jp/user\\_regi/](https://wis.max-ltd.co.jp/user_regi/)

サーマルプロッタからお買い上げいただきました機種名を選択してください。  
ホームページでスピーディーにお客様登録できますので上記URLにアクセスしてください。  
お客様サポート情報を発信しています。



- ソフトウェアバージョンアップ情報
- サポート情報
- ドライバダウンロード

## ②FAXにて登録の方 FAX 0120-226-122 (24H 受付)

このページ下記の記入欄に必要事項をご記入の上、送信してください。

### 登録ご記入欄

法人名	部署名	
ふりがな お名前		
おところ 〒□□□□-□□□□	都道府県	市区町村
電話番号	FAX 番号	
メールアドレス		
貴社の業種は 1. 葬祭業      2. ホテル・旅館      3. 交通機関      4. 店舗      5. 官公庁 6. 教育・各種学校      7. 各種組合・団体      8. その他 (      )		
貴社の従業員数は 1. ～5人      2. ～10人      3. ～30人      4. ～50人      5. ～100人 6. 100人～(約      人)		
ご購入年月日	ご購入店名	ご購入店電話番号

### 個人情報の取扱いについて

お客様からご提供いただいたお客様の氏名・住所・電話番号およびご使用中の当社製品に関する情報は、新製品情報・イベントのご案内や当社製品・サービスの質の向上のために利用させていただきます。

- 保証期間      6か月      ※サーマルヘッド・プラテンローラ・カットは消耗部品につき保証対象外です。
- 機種名
- シリアル番号

お客様登録カードに、ご購入店名・ご購入年月日等が記入されているかご確認ください。  
保証書の保証規定をよくお読みの上、大切に保管してください。  
アフターサービスについてご不明な点やご相談がある場合は、お買い上げの販売店、または下記までお問い合わせください。

ホームページ：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200**

「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。  
通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部	〒 103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8108 (代)
支店・営業所			
札幌支店	〒 060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 261-7141 (代)
仙台支店	〒 984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 236-4121 (代)
東京支店	〒 103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8141 (代)
名古屋支店	〒 462-0819	名古屋市北区平安 2-4-87	TEL (052) 918-8620 (代)
大阪支店	〒 553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6444-2031 (代)
広島支店	〒 733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-6331 (代)
福岡支店	〒 812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 411-5416 (代)
盛岡営業所	〒 020-0824	盛岡市東安庭 2-10-3	TEL (019) 621-3541 (代)
静岡営業所	〒 420-0067	静岡市葵区幸町 29-1	TEL (054) 205-3535 (代)
販売関係会社			
埼玉マックス(株)	〒 331-0823	さいたま市北区日進町 3-421	TEL (048) 651-5341 (代)
四国マックス(株)	〒 761-8056	高松市上天神町 761-3	TEL (087) 866-5599 (代)
マックスエンジニアリングサービス(株)			
札幌サービスステーション	〒 060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 231-6487 (代)
仙台サービスステーション	〒 984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 237-0778 (代)
東京サービスステーション	〒 190-0022	東京都立川市錦町 5-17-19	TEL (042) 548-5332 (代)
名古屋サービスステーション	〒 462-0819	名古屋市北区平安 2-4-87	TEL (052) 918-8624 (代)
大阪サービスステーション	〒 553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6446-0815 (代)
広島サービスステーション	〒 733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-5670 (代)
福岡サービスステーション	〒 812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 451-6430 (代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6